

「いない いない ばー!!」

申田 昇太 (くしだ しょうた) 3歳

神辺千鶴幼稚園
(備後教区)

●表紙のこたば●



おおはし いさお
大橋 功

岡山大学大学院
教育学研究科

昇太君はカエルと実際に触れあった経験の中で、その正面から見た表情がとっても印象的だったのでしよう。活動が始まると、迷いなく画面いっぱいにかエルの顔を描き、ジャンプしている時の手を描いていったそうです。その筆触の勢いの良さから見ても、先生が用意してくれたたくさんの色の中から使いたい色を思いのままに選び、気持ちよく使いこなして描いていった様子がわかります。

3歳頃の子供は、たくさんの色を使い分けることよりも、一気に一色で描ききることも少なくありません。ともすれば、多色の絵の具の混色遊びに走ってしまい、そちらが楽しくなってしまうかもしれません。それは決して悪いことではありませんが、このように、印象深い経験を持つことができたときには、そのイメージをしっかりと表現していくことができます。それは姿形を写しとっているのではなく、いのちのつながりを深く感じとっての表現なのです。